# 日歯生涯研修事業

# 「IC カード用研修受付ソフト」

# 操作説明書

## 日本歯科医師会

1.	「IC カード用研修受付ソフト」のインストールについて	3
2.	「IC カード用研修受付ソフト」の起動	4
3.	研修開始前の準備作業概略	5
4.	研修設定	5
5.	研修受付-テスト	7
6.	研修受付	10
7.	研修受講者数表示	
8.	データ出力	14
9.	受付データファイルの送信	
10.	カード読取時の音量を調整する	19
11.	システム操作履歴の表示	20
12.	こまった時は?	22
	■「1. 研修設定」ボタンが押せない	22
	■「研修設定」画面が終了できない	22
	■カード読取時に音が出ない	22
	■「2. 研修受付-テスト」ボタン または「3. 研修受付」ボタン押下時に、エラーが表示される	22
	■「研修受付-テスト」画面 または「研修受付」画面を表示中に、エラーが表示される	22
	■FeliCa ポート自己診断プログラムの起動	
	■どうしてもうまく動かない	24
	■間違えて同じ「IC カード受付データファイル」を 2 回メールしてしまった	24
	■研修会場への出席者が多く、カードでの受付が時間内に終わりそうにない	24
	■受付データファイルを送信したが、受講者情報が <i>E-system</i> へ反映されない	24

1. 「IC カード用研修受付ソフト」のインストールについて

「IC カード用研修受付ソフト」を利用するためには、コンピュータへの「IC カード用研修受付ソフト」のインストールが必要です。

ソフトのインストール方法は、下記「インストール手順書」を参照して下さい。

- ■「ICカード用研修受付ソフト」インストール手順書 (Windows XP, Windows 2000 共用) ファイル名: ICcard\_soft\_InstallManual\_for\_WinXP\_2000.pdf
- ■「IC カード用研修受付ソフト」インストール手順書 (Windows Vista 用) ファイル名: ICcard\_soft\_Instal|Manual\_for\_Vista.pdf
- ■「ICカード用研修受付ソフト」インストール手順書 (Windows 7 用) ファイル名: ICcard\_soft\_Instal|Manual\_for\_Win7.pdf



## 2. 「IC カード用研修受付ソフト」の起動

2.1. 「IC カード用研修受付ソフト」をインストールし、IC カードリーダをパソコンに接続して下さい。 次に、デスクトップ上の「IC カード研修受付」アイコンをダブルクリックし、起動します。



2.2. 「日本歯科医師会 I Cカード用研修受付 メニュー」が表示されます。 ※画面が表示されるまで 30 秒程の時間がかかります。

🧼 日本歯科医師会 ICカード用研修受付 メニュー 📃 🗖 🔀			
ファイル オプション ヘルプ			
1. 研修設定	「短縮コード」と「セミナー名」の設定を行います。		
2. 研修受付-テスト	ICカード受付処理のテストを行います。 テストで受付を行った分はデータ出力されません。		
3. 研修受付	ICカードの待ち受け画面を表示し、研修受付を行います。		
4. 研修受講者数表示	当該研修の受付を行った会員数を表示します。		
5. データ出力	当該研修の受付を行った会員のデータを出力します。		
6. 終了			
日本歯科医師会 ICカード用研修受付ソフト Version:1.3.0.0			

▲ 前回の研修会後にデータ出力が行われていない場合は、確認メッセージが表示されます。



### 3. 研修開始前の準備作業概略

研修会開催が決定したら、当該研修会の情報を *E-system* に登録し、「短縮コード」を取得しておいて下さい。 次に、本ソフトにて、「研修設定」ボタンを押下し、当該研修の「短縮コード」と「セミナー名」を入力しま す。その後、「研修受付-テスト」ボタンを押下し、IC カードの読取テストを行います。 以上で、研修開始前の準備は終了となります。

## 4. 研修設定

4.1. メニューの「1. 研修設定」ボタンをクリックします。

● 日本歯科医師会 10カード用研修受付 メニュー           ファイル         オブション         ヘルプ				
1. 研修設定	「短縮コード」と「セミナー名」の設定を行います。			
2. 研修受付-テスト	ICカード受付処理のテストを行います。 テストで受付を行った分はテータ出力されません。			
3. 研修受付	ICカードの待ち受け画面を表示し、研修受付を行います。			
4. 研修受講者数表示	当該研修の受付を行った会員数を表示します。			
5. データ出力	当該研修の受付を行った会員のデータを出力します。			
6. 終了				
日本歯科医師会 ICカード用研修受付ソフト Version1.2.0.0				

4.2. 研修情報の入力画面が表示されます。

٢	研修設定		X
	研修情報		
	短縮コード	2345 3006 4580	
	セミナー名	★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★	
		確定してメニュー に戻る (に戻る	

短縮コード: 当該研修の「短縮コード」を入力します。(半角数字 最大6桁まで) ※ 異なる「短縮コード」を5つまで一度に入力することができます。

セミナー名: 当該研修の「セミナー名」を入力します。(全角文字 最大 80 文字まで) ※ 複数の「短縮コード」を入力する場合は、それぞれ個別の「セミナー名」を 複数入力しても良いですし、複数の研修をまとめるような「セミナー名」を 考え、入力しても良いでしょう。

 セミナー名が長すぎる場合、「3.研修受付」画面で表示しきれない場合があります。

 「2.研修受付-テスト」ボタンを押下し、セミナー名が正しく表示されているかを確認し、調整を行って下さい。

	入力するセミナー名は、 <i>E-system</i> に登録されているセミナー名と必ずしも一言一句同じである必要は			
	ありません。			
	複数の「短縮コード」が入力された場合には、「短縮コード」に重複がないかをチェックします。			
$\Lambda$	「セミナー名」入力の際に、以下の半角文字の使用が禁止されています。 全角文字に変換して使用す			
	るなどの対応をします。			
	¥ / : * ? < >   "			
	「確定してメニューに戻る」ボタンをクリックした際に、チェックをおこないます。			
	禁止文字 🛛 🔀			
	セミナー名に以下の文字は使用しないで下さい。 ¥ /:*?<>  *			
	OK			

4.3. 短縮コード及びセミナー名の入力が終了しましたら、「確定してメニューに戻る」ボタンをクリックします。 入力した内容を破棄し、入力前の状態に戻す場合は、「何もせずにメニューに戻る」ボタンをクリックします。

⚠️ 「短縮コード」及び「セミナー名」を入力しないと、確定してメニューに戻ることはできません。

4.4.「確定してメニューに戻る」ボタンをクリックした場合、確認メッセージが表示されます。
 入力した内容を確認し、正しい場合は「はい」ボタンをクリックします。
 修正する場合は、「いいえ」をクリックし、入力画面へ戻り正しい内容を入力します。

確認メッセ	とージは2回表示されます。	
研修設定		×
?	この「短縮コード」と「セミナー名」で確定してよ	ろしいですか?
研修設定		
?	本当によろしいですか?	
	田(A) > > こ 研修設定 研修設定 (一) (一) (一)	研修設定     この「短縮コード」と「セミナー名」で確定してよ       (はい(Y)     (いいえい)       研修設定     (いいえい)       研修設定     (いいえい)

▲ 入力した内容は必ず確認して下さい。

「3. 研修受付」ボタン(「2. 研修受付-テスト」ボタンではありません)を押下して、IC カードを 1 枚でも 読み取ると、「1. 研修設定」ボタンを使用することができなくなります。

(「5. データ出力」を実行すると初期状態に戻り、「1. 研修設定」ボタンを使用することができるようになります。)

5. 研修受付ーテスト

IC カードが正しく読取れるか、「短縮コード」と「セミナー名」が正しく表示されるかを確認します。

5.1. メニューの「2. 研修受付—テスト」ボタンをクリックします。



5.2. IC カード受付のテスト用の待ち受け画面が表示されます。 「短縮コード」及び「セミナー名」が正しいか確認して下さい。

● 日本歯科医師会
短縮コード:2345 3006 4580
XXXXXXXXXXの治療方法に関する集中セミナー
この画面はカード読取用の確認画面です。 本番運用では使用しないで下さい。
カードをICカードリーダーにタッチしてください
社団法人 日本歯科医師会 JDA E-system Japan Dental Association Education System

 セミナー名が長すぎる場合、「3.研修受付」画面で表示しきれない場合があります。
 本テスト画面で、セミナー名が正しく表示されているかを確認して下さい。
 セミナー名の調整は、「1.研修設定」画面で調整して下さい。

- 5.3. IC カードをカードリーダにタッチして、正しく読み取れることを確認して下さい。
  - IC カードが正しく読取れると、読み取り成功のブザー音と共に、下のメッセージが画面に表示されます。
  - ※パソコンの音量設定が小さいとブザー音が聞き取れない場合があります。パソコンの音量を調整したい 場合には「10. カード読取時の音量を調整する」を参照して下さい。

● 日本歯科医師会
短縮コード:2345 3006 4580
XXXXXXXXXXの治療方法に関する集中セミナー
この画面はカード読取用の確認画面です。 本番運用では使用しないで下さい。
カードの読み取りに成功しました:000021
社団法人 日本歯科医師会 JDA E-system Japan Dental Association Education System

「カードの読み取りに成功しました」のメッセージの右横に表示されている番号は、「ID」です。 IC カードに印刷されている「ID」と同じか確認して下さい。

IC カードがうまく読取れない場合は、読み取り失敗のブザー音と共に、下のメッセージが画面に表示されます。

● 日本歯科医師会	
短縮コード:2345 3006 4580	
XXXXXXXXXXの治療方法に関する集中セミナー	
この画面はカード読取用の確認画面です。 本番運用では使用しないで下さい。	
カード読み取りに失敗しました。 もう一度カードをかざしてください	
社団法人 日本歯科医師会 JDA E-system Japan Dental Association Education System	メ <u>ーユ</u> ーに 戻る

このメッセージはカードリーダに対して IC カードを短い時間しかタッチしない場合に表示されます。
 本番の受付け時にこのメッセージが出た場合には、会員の方に、もう少しゆっくりと IC カードをタッチしていただくよう、お伝えいただき、再度タッチするようにして下さい。

5.4. 確認作業が終了しましたら、「メニューに戻る」ボタンをクリックします。



▲ 間違えてこのテスト画面のままで、本番の IC カードの受付を行わないよう、注意して下さい。

### 6. 研修受付

「研修受付・テスト」にて研修内容に間違いがないことを確認した後、「3. 研修受付」を実施し実際に出席された会員の IC カードを受付けます。

6.1. メニューの「3. 研修受付」ボタンをクリックします。



6.2. 研修内容の確認画面が表示されます。

再度、研修内容を確認し、正しい場合は「はい」をクリックします。 間違っている場合は「いいえ」をクリックし、「1.研修設定」で正しい設定内容に修正します。

🗘 zbi uzz 🛛 🔀
研修受付後は、短縮コードの修正は出来ません。 短縮コード: 2345 3006 4580 セミナー名: XXXXXXXXXの治療方法に関する 集中セミナー
研修受付を開始してよろしいですか?
はい いいえ

▲ 入力した内容は必ず確認して下さい。

「3. 研修受付」ボタン(「2. 研修受付-テスト」ボタンではありません)を押下して、IC カードを 1 枚でも 読み取ると、「1. 研修設定」ボタンを使用することができなくなります。

(「4. データ出力」を実行すると初期状態に戻り、「1. 研修設定」ボタンを使用することができるようになります。)

6.3. 「はい」をクリックすると、IC カードの待ち受け画面が表示されます。 IC カード受付中は、この画面を表示したままにして下さい。

● 日本歯科医師会	
短縮コード:2345 3006 4580 XXXXXXXXXの治療方法に関する集中セミナー	
カー ドをICカー ドリーダーにタッチしてください	
社団法人 日本歯科医師会 JDA E-system Japan Dental Association Education System	メニューに 戻る
この画面が来場される会員の方に見えるように、パソコンのしょう。	の画面を来場される方向に向けるのもよいて

6.4. 出席された会員は IC カードを IC カードリーダにタッチして、研修の受付を行います。 受付を行うと、次の画面のように「ID」が画面に表示されます。

	💮 日本歯科医師会	
	短縮コード:2345 3006 4580 XXXXXXXXXXの治療方法に関する集中セミナー	
	カードを受け付けました:000021	
	社団法人 日本歯科医師会 JDA E-system Japan Dental Association Education System	
	IC カードの受付は、同じ会員が IC カードを何度タッチされても問	題ありません。
⚠	カード読み取り中に IC カードを素早く動かすとエラーが発生する カードは、カードリーダに対して「ゆっくりとタッチして」いただくよう	場合があります。 にして下さい。

▲ 読み取り失敗のブザー音とエラー表示がされた場合は、必ずもう一度カードをタッチして下さい。

6.5. 研修会出席会員分の IC カード受付が終了しましたら、「メニューに戻る」ボタンをクリックしてメニューに戻ります。

この時、終了確認の画面が表示されます。カード未入力の会員がいないことを確認し、「はい」ボタンを クリックします。



- ▲ カード未入力の会員がおられましたら、「いいえ」をクリックして IC カードの待ち受け画面に戻り、カードを読み取って下さい。
- 終了確認で「はい」をクリックしてメニューに戻っても、再度メニューから、「3. 研修受付」ボタンを押下 すれば、当該研修の IC カード受付を続行することが可能です。
   但し、「データ出力」を実行すると、当該研修の「研修受付」は終了し、IC カードの受付はできなくなり ます。

## 7. 研修受講者数表示

「研修受付」で IC カード受付を行った会員の方の受付人数を表示する機能です。

7.1. メニューの「4. 研修受講者数表示」ボタンをクリックします。



7.2. 受付を行った人数が表示されます。

研修受護	諸教表示 🛛 🔀	
(į)	受付済みの受講者数は現在、2名です	
	ОК	



同じICカードを何回タッチしても受講者数には影響がありません。

## 8. データ出力

「研修受付」で IC カード受付を行った会員の方の受付データを、ファイルに出力する機能です。

本「データ出力」機能で出力したデータファイルは大事に保管・管理して下さい。出力したファイルは、別途、 メールに添付し、ICカード受付データの送信専用の『所定のメールアドレス』に送信します。 ※メールの方法は、「9. 受付データファイルの送信」を参照して下さい。

8.1. メニューの「5. データ出力」ボタンをクリックします。

◎ 日本歯科医師会 10カード用研修受付 メニュー				
ファイル オプション ヘルプ				
1. 研修設定	「短縮コード」と「セミナー名」の設定を行います。			
2. 研修受付-テスト	ICカード受付処理のテストを行います。 テストで受付を行った分はテータ出力されません。			
3. 研修受付	ICカードの待ち受け画面を表示し、研修受付を行います。			
4. 研修受講者数表示	当該研修の受付を行った会員数を表示します。			
5. データ出力	当該研修の受付を行った会員のデータを出力します。			
6. 終了				
日本歯科医師会 10カード用研修受付ソフト Version 1200				

8.2. 確認メッセージが表示されます。

出力してもよろしい場合は、「はい」をクリックします。

<ul> <li>出力暗認</li> </ul>
カード未入力の方はいらっしゃいませんか? これを行なうと研修受付データの出力を行います。 データを出力すると、当該研修のカード受付は出来 なくなります。 出力したデータは無くさないようにして下さい。 処理を行ってもよろしいですか?
はいいえ

▲ カード未入力の会員がいらっしゃらないか必ず確認して下さい。 ここで「はい」をクリックしてファイル出力を行うと、当該研修の IC カード受付は出来なくなります。 8.3. データ出力終了のメッセージが表示されます。「OK」をクリックします。



- 「C:¥研修受付データ」フォルダの中に、毎回「フォルダ」を作成して、そのフォルダの中に受付データファイ ルを出力します。

   (前バージョンでは、「C:¥研修受付データ」フォルダの直下に受付データファイルを出力していた。)

   毎回作成する「フォルダ」の「名称」は、先に「1.研修設定」で入力している、「セミナー名(の最初から全 角20文字分)」と同じ名称で作成されます。

   ※ このフォルダ作成機能は、大量に保存される「研修受付データ」ファイルを整理・管理する 際の、判読性の向上を目的としています。
- 8.4. 終了メッセージに表示されたフォルダに、受付データが「ファイル」として出力されます。
   出力されたデータファイルを確認するには、デスクトップ上の「研修受付データ」フォルダをダブルクリックして、フォルダを開き、更に、今回作成された「セミナー名(の最初から全角20文字分)」と同一 名称のフォルダを開いて下さい。



出力されるファイルの名称ルールは以下のとおりです。



「1. 研修設定」で複数の「短縮コード」を設定した場合には、複数の「短縮コード」に対応した複数の「研 修受付データファイル」が一度に作成されます。

2022/2022/2013度方法に関する集 📃 🗖 🔀				
↓(E) 編集(E) 表示(V) お気に)	入り( <u>A) ツール(T) ヘルプ(H)</u>	作成されたフォルダ		<b>R</b>
戻る 🔹 🕥 🕤 🏂 🔎 検索	🧞 フォルタ 🎹•	「セミナー名(の最初から	5全角20文字分)」	
① 合 C¥研修受付データ(XXXXX)	※※※※の治療方法に関する集		✓	移動
	名前 🔺	サイズ 種類	更新日時	
イルとフォルダのタスク 🙁	🗊 002345_20090209014441.txt	1 KB テキスト ドキュメント	2009/02/09 1:44	
新しいフォルダを作成する	003006_20090209014441.txt	1 KB テキスト ドキュメント	2009/02/09 1:44	
このフォルダを Web に公開する	🗐 004580_20090209014441.t×t	1 KB テキスト ドキュメント	2009/02/09 1:44	
このフォルダを共有する				
他	ー度に作成され、 を の研修受付データン 内容(ファイルに含)	复数の「短縮コード」に対応し ファイル まれる研修出席会員)は全て	た複数 司一。	

デスクトップ上の「研修受付データ」フォルダを開くと、過去当該パソコンで出力した研修受付ファイル、あるいは、「セミナー名(の最初から全角20文字分)」の名称を持つフォルダが複数見えてきます。

このフォルダに入っている各研修受付ファイルとディレクトリを、コピーしたり、移動したりしても、問題 はありません。

ファイルの管理や整理のために、別途フォルダを作成し、そこにファイルをコピーまたは移動されてもよいでしょう。

▲ 出力された「研修受付データファイル」に対する、以下の操作は禁止となります。

- × ファイル名称の変更。
- × ファイル内容の変更。

## 9. 受付データファイルの送信

出力したファイルは、メールに添付し、IC カード受付データ受け取り専用の『所定のメールアドレス』に送 信します。これにより E-system に当該研修の受講者情報が登録されます。

『 <b>所定のメールアドレス</b> 』は、次のアドレスです。	iccard data@nskis.ida.or.ip

9.1. 普段お使いのメールソフト(下図は MicroSoft-OutLook の例)を立ち上げ、メールを出す準備をします。



9.2. メールに以下の情報を書き込み、内容に間違いがないことを確認してから、メールを「送信」します。

- ① メールを送る「宛先のアドレス」
- ② メールの「件名」
- : iccard\_data@nskjs.jda.or.jp
  - : 添付するファイルの「件名」を入力します。
- ③ 添付する「研修受付データファイル」 : ファイルのドラッグ&ドロップ等で取込みます。

(※「件名」を入力しなくても送信はできます。)

	🔹 無題 - メッセージ (リッチ テキスト形式)
	: ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 挿入(P) 書式(Q) ツール(T) アクション(A) ヘルプ(H)
	🔢 🖂 送信 🕲   🛃   🔁 Adobe PDF として添付 迎   📍 🕴 💘 🕌 🎽 🕌 Arial 💦 🚽   🌆 🗸   B 🙂   華 🤤
(	宛先, iccard data@nskis.jda.or.jp
Q	件名(」): 2009/02/04実施: iOOOOOOOOOOOOA療方法に関する集合セミナー 添付ファイルのオプション(M)
	Provide Addition (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)



メールに、「研修受付データファイル」を含むフォルダの「リンクファイル」等を添付しないで下さい。

☎ 22009/02/04実施: XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	リッチ テキスト形式)	
: ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 挿入(P) 書式(Q) ツール(T) アクション(A) ヘルプ(H)		
🕴 🖃 送信 🕲   💂   🔁 Adobe PDF として添付 (型)   📍 🌷   🔻 🦉 🗒 MS Pゴシック 🔹	- 10 -  <u>A</u>  B <u> </u>	u   🛊 🛊 🔋
宛先,		
件名(J):         22009/02/04実施: XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	添付ファイルのオプション	·( <u>M</u> )

## 10. カード読取時の音量を調整する

10.1. [オプション] --[システム設定(音量など)]を選択します。



10.2. 音量調整画面が表示されます。

🧳 システム設定	
デバイスの音量	このバーを左右に移動する事 で音量を調整できます。
(E.	高
	メニューに戻る

- ① バー移動時にテスト用の音が鳴ります。バーを左右に動かし、音量を調整して下さい。
- ② ミュートにチェックが付いている場合は、音が鳴らなくなります
- ③ 「メニューに戻る」ボタンをクリックします。



## 11. システム操作履歴の表示

この機能は「IC カード用研修受付ソフト」に障害が発生したと思われる際に、「過去の操作」が正しかったか を確認する場合に使用します。 通常の運用時には利用しません。

11.1. [オプション] --[システム操作履歴表示(障害時に使用)]を選択します。



11.2. 履歴表示画面を表示します。

展歴表示		
D0000 (00 (0)		
2008/02/21	▲ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★	
時刻処理	内容	~
102617         メニュー           102623         メニュー           102626         メニュー           102657         研修受付-デ           102703         研修受付-デ           102713         研修受付-デ           102713         研修受付-F           102720         研修受付-F           102721         研修受付-F           102722         メニュー           104205         メニュー           104205         メニュー           104205         メニュー           104211         メニュー           104226         メニュー           104245         メニュー           104245         メニュー           104246         メニュー           104245         メニュー           104246         メニュー           104247         メニュー           104248         メニュー           104324         メニュー           105655         メニュー           105656         メニュー           105657         メニュー           105658         メニュー           105741         メニュー           105813         メニュー           105814         メニュー           105827         終了確認2 </td <td>アプリケーション起動 研修会の受付データが未だ出力されていません。 システム設定画面表示、 処理開始 処理終了 処理操行 処理操行 未出力データがあります。 アプリケーションを除了してよろしいですか?:Yes アプリケーションを除了してよろしいですか?:Yes アプリケーションを除了してよろしいですか?:Yes アプリケーションを総合してよろしいですか?:Yes アプリケーションを認定してよろしいですか?:Yes アプリケーションを終了してよろしいですか?:Yes</td> <td></td>	アプリケーション起動 研修会の受付データが未だ出力されていません。 システム設定画面表示、 処理開始 処理終了 処理操行 処理操行 未出力データがあります。 アプリケーションを除了してよろしいですか?:Yes アプリケーションを除了してよろしいですか?:Yes アプリケーションを除了してよろしいですか?:Yes アプリケーションを総合してよろしいですか?:Yes アプリケーションを認定してよろしいですか?:Yes アプリケーションを終了してよろしいですか?:Yes	
	ב_א	ーに戻る

11.3. 日付の一覧から日付を選択することで、過去の履歴を表示することができます。



#### 12. こまった時は?

#### ■「1. 研修設定」ボタンが押せない

「3. 研修受付」で、IC カードの受付を1人でも行うと、「5. データ出力」を行うまで「1. 研修設定」ボタン は利用できません。

#### ■「研修設定」画面が終了できない

「短縮コード」または「セミナー名」が未入力の場合は、「確定してメニューに戻る」ボタンを押してもエラ ーが表示され、終了することはできません。メッセージに従い、「短縮コード」と「セミナー名」を入力して 下さい。

#### ■カード読取時に音が出ない

- ・ [オプション] --[システム設定]で音量を調整して下さい。ミュートにチェックが付いていませんか?
- ・ パソコン本体の物理的な音量が小さくなっていませんか?

#### ■「2. 研修受付-テスト」ボタン または「3. 研修受付」ボタン押下時に、エラーが表示される

ICカードリ	リーダーエラー	
8	ICカードリーダーの接続に失り 接続を確認してください。 OK	敗しました。

IC カードリーダが正しく接続されていない場合に表示されます。次のことを試してみてください。

- IC カードリーダがパソコンに接続されていなければ、接続する
- ・ USB ケーブルを抜き差しする
- ・ USB HUBを使用している場合は、パソコンに直接接続する
- ・「FeliCa ポート自己診断プログラム」で IC カードリーダが正しく動作していることを確認する
   (下の、 ■FeliCa ポート自己診断プログラムの起動 を参照)

#### ■「研修受付-テスト」画面 または「研修受付」画面を表示中に、エラーが表示される

カードリーダに対して IC カードを短い時間しかタッチしない場合には、下のエラーが表示されます。 再度、IC カードをゆっくりとカードリーダにタッチしてください。

短縮コード:123456
XXXXXセミナー
カード読み取りに失敗しました。 もう一度カードをかざしてください

IC カードリーダが正しく接続されていない場合、次のエラーが表示されます。

上記、■「2. 研修受付-テスト」ボタン または「3. 研修受付」ボタン押下時に、エラーが表示される と同様のことを試してみて下さい。



## ■FeliCa ポート自己診断プログラムの起動

(株) ソニーが提供する、FeliCa ポート用の自己診断プログラムです。

パソコン画面左下にある「スタート」ボタンから実行します。

- 1. [スタート]-[プログラム]-[FeliCa ポート]-[FeliCa ポート自己診断]を選択して起動してください。
- 2. 次の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックします。



3. 接続されている Felica ポート/パソリの一覧が表示されます。

確認を行う、Felica ポート/パソリにチェックを付け、「次へ」ボタンをクリックします。

FeliCaポート/パソリ(FeliCa対応リーダー/ライター)自己診断 Ver.3.1.4.3			
FeliCaポート/パソリの自己診断を開始します この診断で、FeliCaポート/パソリに障害がないか	どうかをチェックします。	2	
FeliCaボート/パソリ デバイスの選択 ※FeliCaボートの接続と表示が異なっている場合 診断対象デバイスを選択してください。	、断線している可能性があります。		
□	└─ 結果をログファイルに出力する		
	■ PO環境情報を口びに含める ■ FeliCaライブラリを全検索する		
 「次へ」を押してください。FeliCaポート/パンリの自i	己診断と環境情報の取得を行います。		
	く 戻る(B) 次へ(N) > キャン	セル	

4. 自己診断が開始され、正常に動作している場合は、次の画面が表示されます。 次の画面が表示されれば、FeliCa ポート/パソリが正しく設定されています。

FeliCaポート/パソリ (FeliCa対応リーダー/ライター) 自己診断 Ver.3.1.4.3								
FeliCaボート/パソリ 自己診断結果 FeliCaボート/パソリ 自己診断結果を表示します。								
	自己診断結果 対象デバイスの表示リンクをクリックすると、詳細情報を参照できます。							
	詳細	番号	デバイス種別	ファームVer.	ドライバVer.	ポート診断	カードとの通信	
	表示	0	外付け(RC-S330/P)	1.30	1.1.2.1	OK	NG (E05)	
「完了」広加い力すると、自己診断住後了します。								
(フロココダンシンネタビケ日に1935年16月6日) ひかえる								

## ■どうしてもうまく動かない

ご質問等は、 esystem\_support@nskjs.jda.or.jp のメールアドレスにお送り下さい。

## ■間違えて同じ「IC カード受付データファイル」を2回メールしてしまった

問題はありません。

### ■研修会場への出席者が多く、カードでの受付が時間内に終わりそうにない

研修会場に「IC カード用研修受付ソフト」をインストールしたパソコンを複数台設置して、分散して IC カードの受付を実施することができます。

会員は、会場に設置されたどれか1つのパソコンでカードを読ませれば良いことになります。

この場合は、研修終了後、複数台のパソコンから複数の「IC カード受付データファイル」を収集して、メールに添付し、所定のメールアドレスに送ります。

会員が会場に設置された異なる複数のパソコンに対して IC カードをタッチされたとしても問題はありません。

### ■受付データファイルを送信したが、受講者情報が E-system へ反映されない

リアルタイムにはデータは反映されません。

受付データファイルを送信することにより、当該研修の受講者情報が E-system へ登録されますが、

**E-system** へのデータ反映には時間が掛かることをご了承下さい。

これは、送信された受付データの *E-system* への登録は運用作業によって「一括登録処理」されるためです。 登録作業は定期的に実施しますので、*E-system* の Web 画面から研修データの登録が確認できるまでに時間 を要します。